

研究報告書

1. 「東北稲作地帯における農地改革後の経営の発展 - 秋田県横手市旭地区における調査報告 - (* 菱沼達也・小松展之と共著)」、秋田県、71 頁、1957 (昭和 32 年). 9
2. 「大正 10 年『岡山県川上郡湯野村産業基本調査』の分析」、卒業論文抄録 3、東京教育大学農学部談合農学研究室、65 ~ 70 頁、1958 (昭和 33 年). 3
3. 「戦後における農家の経営と馬・全国的概観 (* 菱沼達也と共著)」、近藤康男・菱沼達也編『農業経営における馬の位置づけに関する研究の二 (馬事叢書・第六輯)』67 ~ 81 頁、日本馬事協会、1961 (昭和 36 年). 8
4. 「養蚕作業の経営的研究 (* 菱沼達也・藤島淑男と共著)」、農林漁業試験研究費補助金による研究報告書・養蚕作業に関する研究 () 3 ~ 280 頁、1963 (昭和 38 年). 3
5. 「ある農家の年間労働」(文部省科学研究費報告書・昭和 38 年度、菱沼達也：千葉県成田市豊住地区における営農・生活の改善に関する実験的研究) 81 ~ 92 頁、1964 (昭和 39 年). 3
6. 「農家の耕地条件と農業労働 - 埼玉県行田市皿尾部落の調査報告 - (* 菱沼達也と共著)」、99 頁、科学技術庁資源局 (土地 225、低温地 11) 1964 (昭和 39 年). 8
7. 「潮来町大生原地区の営農と生活 - 農業改善のための 40 年 7 月調査 - (* 菱沼達也と共著) 25 頁、東京教育大学農学部総合農学研究室、1965 (昭和 40 年). 10
8. 「畑地灌漑を農業経営に効率的に導入するための基本調査 (* 菱沼達也と共著)」、農林省関東農政局委託研究報告書、29 頁、1968 (昭和 43 年). 3
9. 「機械化農業の定着条件 (* 武井昭・野村浩一・鳥越洋昭と共著) - 大規模先進経営の発展方式に関する研究 (研究成果 74) - 」、39 ~ 43 頁、農林水産技術会議事務局、1974 (昭和 49 年). 3
10. 「混住化に伴うコミュニティ形成の課題」(都市農業と土地問題 - 呉市農業基本構想から - 、中国農経資料、第 55 輯) 19 ~ 37 頁、中国農業試験場農業経営部、1975 (昭和 50 年). 9
11. 「地域主体の確立と生活環境整備の課題 - 山口市仁保地区における“地域づくり”運動の展開と生活環境整備の現状と問題点解明 - 」(農林地域の再開発方式 - 農林漁業における環境保全的技術に関する総合研究報告 - 、中国農経資料、第 63 輯) 106 ~ 145 頁、中国農業試験場農業経営部、1977 (昭和 52 年). 3
12. 「農村地域住民の生活と環境整備 (農地開発と環境保全 - 農林地域の再開発方式に関する研究 -)、中国農経資料、第 68 輯) 中国農業試験場農業経営部、67 ~ 74 頁、1978 (昭和 53 年). 3
13. 「果樹作の集団的生産組織 - 中国地域 - (加勢川堯・ * 保田篤と共著)」(錦織秀夫編：昭和 52 年度農林水産業特別試験研究費補助金による研究報告書・集団的生産組織構成の変動と構成員のライフスタイルとの関連に関する研究) 129 ~ 174 頁、1978 (昭和 53 年). 3
14. 「農村集団の類型調査から構造分析へ」(特別研究『農・山村社会における生産及び生活の組織化方式の確立に関する研究』資料 - むら研究会報告集 - 中国 1) 39 ~ 50 頁、中国農業試験場農業経営部、1979 (昭和 54 年). 3
15. 「農村生活環境整備論ノート」、中国農経資料第 71 輯、中国農業試験場農業経営部、71 頁、1979 (昭和 54 年). 3

16. 「農山村における生活環境の再整備方式（*保田篤と共著）」（別枠研究・『農林漁業における環境保全的技術に関する総合研究』試験成績書・第5集 - 環境保全的土地利用技術と管理方式・農林漁業空間と地域開発手法 - ）、559～562頁、農林水産技術会議事務局、1979（昭和54年）。3
17. 「果樹作の集団的生産組織 - 中国地域 - （加勢川堯・*保田篤と共著）」（主任研究者・錦織秀夫編：昭和53年度農林水産業特別試験研究費補助金による研究報告書・集団的生産組織構成の変動と構成員のライフスタイルとの関連に関する研究）105～142頁、1979（昭和54年）。3
18. 「久米集落における社会生活集団」（特別研究『農・山村社会における生産及び生活の組織化方式の確立に関する研究』資料 - 昭和53年度現地検討会議記録・岡山県総社市久米集落 - 中国 2 ）、50～76頁、中国農業試験場農楽経営部、1979（昭和54年）。10
19. 「秋田県平鹿郡大雄村（継続地区）」（『地域農業の振興、村づくりの担い手』に関する実態調査報告書）37～84頁、東北農政局、1980（昭和55年）。3
20. 「地域農業振興の担い手をめぐる事例分析 - 宮城県栗駒町・秋田県大雄村における地域農業振興活動から - 」、東北農試農経研究資料 61、90頁、東北農業試験場農業経営部、1980（昭和55年）。5
21. 「地域農業と学校給食」、研究センター・ヒアリングシリーズ 17、農林中央金庫調査部研究センター、30頁、1981（昭和56年）。2
22. 「道東畑作地帯における農村地域組織の動向」（『道東畑作地帯における集落と生産組織構造 - 『村落特研』昭和55年度現地検討会議記録 - ）、北農試農業経営研究資料第50号、37～53頁、北海道農業試験場、1981（昭和56年）。3
23. 「農村生活の質的向上をめざした田園都市づくりの方向とその展望 - （君塚正義と共著）」（『岩手県花巻市における農業振興基本対策について - コンサルタント意見書 - ）、161～186頁、（社）全国農業構造改善協会、1981（昭和56年）。3
24. 「農事組合を中心とする諸集団の活動展開と地域社会づくり - 北海道東部畑作地帯における事例分析から - 」（『農・山村社会における農林業生産及び生活の組織化方式の確立』に関する研究 - 農・山村社会における社会・生活の組織化方式 - ）31～54頁、農業研究センター農業計画部、1982（昭和57年）。3
25. 「畑作地域における生産組織化と集落再編に関する研究」（『昭和56年度流動研究・国内留学研修（研究）結果報告書』56～58頁、農林水産技術会議事務局連絡調整課、1982（昭和57年）。9
26. 「農村における高齢化問題、地域的特性に関する調査」（*池田弘・栗田明良・石川文武・渥美照男・塩谷哲夫・森川辰夫「農村コミュニティにおける高齢者の役割の開発と労働環境整備のための調査 - 調査報告書・高齢化社会に対応する科学技術の研究開発に関するフェージビリティ・スタディー」、19頁）3～6頁、農業研究センター、1982（昭和57年）。12（科学技術庁「昭和57年度科学技術振興調整費『高齢化社会に対応する科・学技術の研究開発に関するフェージビリティ・スタディー』調査報告書（概要版）」、41頁、1983（昭和58年）。3
27. 「道東畑作先進地における地域社会づくりの展開」、80頁、農業研究センター農業計画部・

- 経営管理部、1983(昭和58年). 2
28. 「農村生活の特徴を活かした暮らし方を考える」 - 地域社会農業研究会(第2回)の記録 -、1~26頁、農林中央金庫調査部研究センター、1984(昭和59年). 1
 29. 「学校給食と国民の食生活」(国民生活に対する農業・農村の役割検討対策資料集) 129~134頁、全国農業協同組合中央会、1984(昭和59年). 3
 30. 「研究の経過ならびに伊勢崎市調査の概要」(昭和58年度農村型労働における作業環境の概念設計に関する研究・成績検討会要旨 - 科学技術振興調整費・『高齢化社会に対応する科学技術の開発に関する研究 - 』)、7~19頁、農業研究センター機械作業部・農業計画部、1984(昭和59年). 9
 31. 「農家高齢者問題を考える」研究センター・ヒアリングシリーズ 1、(株)農林中金研究センター、37頁、1986(昭和61年). 11
 32. 「農村型労働における作業環境の概念設計に関する研究」(昭和58~60年度科学技術振興調整費・高齢化社会に対応する科学技術の開発に関する研究・第1期・成果報告書、浅川正彦・小野良孝・森川辰夫・小林恭・平藤雅之・加藤克明・村野圭市と共著) 358~374頁、科学技術庁研究開発局、1978(昭和62年). 2
 33. 「農家の生活設計診断のソフトウェア開発とシステム化に関する研究」(昭和58年度農林水産業特別試験研究費補助金による試験研究結果概要書、昭和58年度継続課題、主任研究者児島俊弘、研究協力者 宮崎礼子・渡辺瑠子・高橋きよ子・森川辰夫・満永光子・新井キヨ子・田部浩子) 23~26頁、農林水産技術会議事務局、1985(昭和60年). 3
 34. 「農家の生活設計診断のソフトウェア開発とシステム化に関する研究」(昭和59年度農林水産業特別試験研究費補助金による試験研究結果概要書、昭和59年度継続課題、主任研究者児島俊弘、研究協力者 宮崎礼子・渡辺瑠子・高橋きよ子・森川辰夫・満永光子・新井キヨ子・田部浩子) 85~86頁、農林水産技術会議事務局、1986(昭和61年). 3
 35. 「農家の生活設計診断のソフトウェア開発とシステム化に関する研究」(昭和60年度農林水産業特別試験研究費補助金による試験研究結果概要書、昭和60年度終了課題、主任研究者児島俊弘、研究協力者 宮崎礼子・渡辺瑠子・木館八重子・高橋きよ子・森川辰夫・満永光子・田部浩子) 19~22頁、農林水産技術会議事務局、1987(昭和62年). 3
 36. 「高齢化農村コミュニティ活性化の要因分析手法開発」(昭和61年度流動研究及び国内留学結果報告書) 113~116頁、農林水産技術会議事務局、1988(昭和63年). 3
 37. 「地域資源の多面化開花をめざして - 北海道富良野市のマルチ型地域活性化路線 - 」、「『自然』を生かすリゾート開発と農業立村 - 長野県南佐久郡南牧村 - 」(昭和63年度国土庁委託調査農村集落構造分析調査報告書・むらおこしの全国的展開〔昭和63年度〕) 11~25頁、66~71頁、(財)農政調査委員会、1989(平成元年). 3
 38. 「農村社会の生活様式の変化と就業動向について(産業構造の変化と農業就業構造の改善の促進に関する調査報告書)」、139~145頁、(財)農村地域工業導入促進センター、1989(平成元年). 3
 39. 「農村総合整備調査 - 都市に対して開かれた農村整備手法検討調査 - 」、202頁、(茨城県大洋村、73~80頁、栃木県矢板市・喜連川町、93~99頁、神奈川県藤野町、147~150頁)(財)農村開発企画委員会、1989(平成元年). 3

40. 『住みよい農村環境』に関する世論調査報告書(小山義夫・小山智士・小川全夫・森川辰夫) 328頁、(財)農政調査委員会、1989(平成元年). 7
再録. 『2,000人の都市観、農業・農村観(日本の農業 - あすへの歩み - ・174)』、第2部 世論調査、67~115頁、農政調査委員会、1990(平成2年). 2
41. 「新潟県朝日村における中核的な施設整備の取り組み」、「新潟県大和町における生活環境整備の個性的な取り組み」(農村整備方策地域類型検討調査報告書〔平成元年度〕) 5~9頁、36~53頁、(財)農政調査委員会、1990(平成2年). 3
42. 「農村型マルチハビテーションの課題」(農村総合整備調査 - 都市に対して開かれた農村整備手法検討調査 -) 11~16頁、(財)農村開発企画委員会、1990(平成2年). 3
43. 「農村活性化活動についての課題」(農村活性化対策調査報告書) 11~12頁、(財)農政調査委員会、1992(平成4年). 3
第1回研究会記録(座長・小川全夫・糸長浩司・大泉一貫・森川辰夫・守友裕一、むらづくり対策室・清野修・林慎一郎、農政調査委員会・小山義夫・吉田俊幸・池本良教・久保田幸男) 1991.12.24開催、41~76頁
第2回研究会記録(座長・小川全夫・糸長浩司・重松敏則・福田善乙・森川辰夫、むらづくり対策室・清野修、農政調査委員会・吉田俊幸・池本良教・久保田幸男) 1992.2.6開催、77~111頁
44. 「総括と提言(阿部健一郎・佐藤百合香と共著)」、『輝きをつなぐ - 稲川町中高齢者生き生きビジョン策定基礎調査報告書』、94~99頁、秋田県稲川町、1992(平成4年). 3
45. 「定住民層における活性化活動の諸局面」(農村活性化対策調査報告書 - ゆとりときらめきのある農村社会をめざして -) 57~60頁、農政調査委員会、1993(平成5年). 3
46. 「津軽リンゴ産地における台風被害と活性化対策」(『東北地方における平成3年気象災害の記録 - 水稲冷害と台風19号被害の実態と解析 - 』) 245~250頁、東北農業試験場、1993(平成5年). 3
47. 「典型事例現地調査・第2節 山形県天童市(久保美紀と共同)(『農村集落構造分析調査報告書・平成5年度』第2章) 64~83頁、農政調査委員会、1994(平成6年). 3
48. 「農村生活研究が取り組むべき今日の課題 - 若干の前提と周辺の問題・補論1」(平成5年度農村生活研究に関する調査研究報告書) 68~72頁、農林水産技術情報協会、1994(平成6年). 3
再録. 農村生活研究、第39号第1号(88) 53~55頁、日本農村生活学会、1995(平成7年). 3
49. 「第4章 山形県天童市」(『農村集落構造分析調査報告書・平成6年度』) 66~81頁、農政調査委員会、1995(平成7年). 3
50. 「第3章 山形県上山市『中川福祉村』」(農村集落構造分析調査報告書 - プロダクティブ・エイジングと農村集落 - ・平成7年度) 37~58頁、農政調査委員会、1996(平成8年). 3
51. 「第3章 山形県高島町 - 『就農移住』という新しい挑戦の事例として - 」(農村集落構造分析調査報告書 - 農村地域の新しい混住化 - ・平成8年度) 67~78頁、農政調査委員会、1997(平成9年). 3
52. 「第3章 多面的活動の事例 . 多面的発展を目指す『北緯40度』の町 - 岩手県二戸郡安

代町の事例 - 」（平成 9 年度農村集落構造分析調査報告書 - 農村集落の混住化と多面的活動）
55～61 頁、農政調査委員会、1998（平成 10 年）。3

53. 「農林水産業を基軸とした福祉日本一の積極展開に関する調査研究（大出順一・扇田實・楠美
タヒ・三上和敏・村上ウメ子・渡部忍外と共著）81 頁、青森県（平成 9 年度政策形式推進
調査研究事業・健康福祉政策課、協力・あおもりくらしの総合研究所）1998（平成 10 年）。
3

教科書

1. 「わが国の農業と農家生活（第 1 章 1.2.3）」、「これからの農家生活（第 6 章 2. - 2.）」（五
味仙衛武・君塚正義『農家経営』・農業高校用教科書）文部省検定済（昭和 58 年 3 月 31
日）4～28 頁、218～222 頁
実教出版株式会社（7. 実教、農業 034）1984（昭和 59 年）。1
* 第 2 刷 1985（昭和 60 年）。1
* 第 3 刷 1986（昭和 61 年）。1
* 第 4 刷 1987（昭和 62 年）。1
* 第 5 刷 1988（昭和 63 年）。1
2. 「わが国の農業と農家生活（第 1 章 1.2.3）」（五味仙衛武・君塚正義『農家経営・新訂版』・
農業高校用）文部省改訂検定済（昭和 63 年 3 月 31 日）3～28 頁、実教出版株式会社（7.
実教・農業 056）1988（昭和 63 年）。5
* 第 1 刷 1989（平成元年）。1
* 第 2 刷 1990（平成 2 年）。1
* 第 3 刷 1991（平成 3 年）。2
* 第 4 刷 1992（平成 4 年）。1
* 第 5 刷 1993（平成 5 年）。1
* 第 6 刷 1994（平成 6 年）。1（今期部数 1,502）